

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版	
KH社様 野田川作業場 計画	

■ 使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
 ■ 評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

スコアシート	実施設計段階	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
							スコア
◎ 建築物の性能評価							
Q1 室内環境							24.5
1 音環境			-	-			-
1.1 室内騒音レベル			-	-			-
1.2 遮音			-	-			-
1 開口部遮音性能			-	-			-
2 界壁遮音性能			-	-			-
3 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-			-
1.3 吸音			-	-			-
2 溫熱環境			-	-			-
2.1 室温制御			-	-			-
1 室温			-	-			-
2 外皮性能			-	-			-
3 ゾーン別制御性			-	-			-
2.2 湿度制御			-	-			-
2.3 空調方式			-	-			-
3 光・視環境			-	-			-
3.1 曜光利用			-	-			-
1 曜光扉			-	-			-
2 方位別開口			-	-			-
3 曜光利用設備			-	-			-
3.2 グレア対策			-	-			-
1 曜光制御			-	-			-
3.3 照度			-	-			-
3.4 照明制御			-	-			-
4 空気質環境			-	-			-
4.1 発生源対策			-	-			-
1 化学汚染物質			-	-			-
4.2 換気			-	-			-
1 換気量			-	-			-
2 自然換気性能			-	-			-
3 取り入れ外気への配慮			-	-			-
4.3 運用管理			-	-			-
1 CO ₂ の監視			-	-			-
2 喫煙の制御			-	-			-
Q2 サービス性能			0.43				3.5
1 機能性			-	-			-
1.1 機能性・使いやすさ			-	-			-
1 広さ・収納性			-	-			-
2 高度情報通信設備対応			-	-			-
3 パリアフリー計画			-	-			-
1.2 心理性・快適性			-	-			-
1 広さ感・景観			-	-			-
2 リフレッシュスペース			-	-			-
3 内装計画			-	-			-
1.3 維持管理			-	-			-
1 維持管理に配慮した設計			-	-			-
2 維持管理用機能の確保			-	-			-
2 耐用性・信頼性			3.0	0.50			3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50			-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80			-
2 免震・制震・制振性能			3.0	0.20			-
2.2 部品・部材の耐用年数			3.2	0.30			-
1 駆体材料の耐用年数			3.0	0.20			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	合成樹脂吹付		2.0	0.20			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	ビニルクロス+PB		3.0	0.10			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.10			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水にHIVP管(20年 D)、排水にVP管(B)、消火にSGP管(C)		4.0	0.20			-
6 主要設備機器の更新必要間隔	ユニット型の消火ポンプ、屋外キューピカルを採用		4.0	0.20			-
2.4 信頼性			2.8	0.20			-
1 空調・換気設備	天吊室内機の吊りの長い箇所は振れ止め措置。室外機は転倒防		3.0	0.20			-
2 給排水・衛生設備			3.0	0.20			-
3 電気設備			3.0	0.20			-
4 機械・配管支持方法			3.0	0.20			-
5 通信・情報設備			2.0	0.20			-

3 対応性・更新性	3.1 空間のゆとり	階高 4.3m 外周部の長さ:2×(53.8m+65.5m)、専用面積:2652.57m ² 柔耐力 2階の積載荷重:6500N/m ²	4.1	0.50	-	4.1
	1 階高のゆとり		5.0	0.30	-	
	2 空間の形状・自由さ		5.0	0.60	-	
	3.2 荷重のゆとり		5.0	0.40	-	
	3.3 設備の更新性		5.0	0.30	-	
	1 空調配管の更新性		2.8	0.40	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	
	3 電気配線の更新性		1.0	0.20	-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.10	-	
	6 バックアップスペースの確保		4.0	0.20	-	
	7 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	1.7
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	
LR1 建築物の資源効率化			-	0.40	-	3.6
LR1.1 エネルギー			-	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	
2 自然エネルギー利用		太陽光発電を採用 98151MJ/3153.12m ² =31.13 MJ/m ²	5.0	0.13	-	5.0
3 設備システムの高効率化		工場用途のエネルギー消費性能計算にて BEIm=0.2	5.0	0.63	-	5.0
4 効率的運用			2.0	0.25	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	
4.2 運用管理体制			1.0	0.50	-	
集合住宅の評価			-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.20	-	3.4
1.1 節水		節水コマ、節水型便器を採用した	4.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	
2 雜排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.60	-	3.5
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		細骨材にフェロニッケルスラブを使用	5.0	0.22	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		特定調達品目(グラスウール、壁天井の断熱材)	3.0	0.22	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上材との接合はボルト留めとして、分別可能	4.0	0.22	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.9	0.20	-	2.9
3.1 有害物質を含まない材料の使用		仕上材には、シックハウス対策等 有害物質を含まない材料を使用	4.0	0.30	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.5	0.70	-	
1 消火剤			-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		発泡型断熱材ではなく、グラスウールを採用	2.0	0.50	-	
3 冷媒		CO ₂ 冷媒冷凍機	3.0	0.50	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO ₂ の排出率が67%	4.3	0.33	-	4.3
2 地域環境への配慮			2.4	0.33	-	2.4
2.1 大気汚染防止		燃焼機器を使用していない	5.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			1.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	
2 污水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	
3 交通負荷抑制			2.0	0.25	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		ゴミの分別回収を行っている	3.0	0.25	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	
1 騒音		規制対象建物以外	3.0	1.00	-	
2 振動			-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制		自主的な対策を評価していない	3.0	0.40	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	
3 日照阻害の抑制		日影規制がない	3.0	0.30	-	
3.3 光害の抑制		広告物照明を行っていない	3.0	0.20	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	
2 曜光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

KH社様 野田川作業場 計画

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画															
1.3.1 維持管理に配慮した設計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	1.0	-	-	-	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	O	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	1.0	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0	-	-	-	-	-	-	O	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	2.0	-	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	5.0	-	1.0	-	2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	O	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雨水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 車体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	1.0	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうらに漏れる光への対策	2.0	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
主な指標															
Q1 室内環境															
2.1.3 外皮性能															
窓システムSC 0.5 窓の日射熱取得率(η) -															
U値(W/m ² K)															
窓システム -															
屋根 -															
外壁 -															
床 -															
住戸部分 窓システムU値 -															
外皮UA値 -															
ηAC -															
ηAH -															
3.1.1 曜光率	0.0%														
4.2.2 自然換気性能	0.0%														
Q2 サービス性能															
1.1.1 広さ・収納性															
1.1.2 高度情報通信設備対応															
1.2.1 広さ・景観															
1.2.2 リフレッシュスペース															
2.2.1 車体材料の耐用年数															
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔															
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔															
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔															
3.1.1 階高のゆとり															
3.1.2 空間の形状・自由さ															
3.2 荷重のゆとり															
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出															
3.2 敷地内温熱環境の向上															
LR1 エネルギー															
1 建物外皮の熱負荷抑制															
2 自然エネルギー利用															
LR2 資源・マテリアル															
1.2.1 雨水利用システム導入の有無															
2.4 車体材料以外におけるリサイクル材の使用															
2.5 持続可能な森林から産出された木材															
3.2.1 消火剤															
3.2.2 発泡剤(断熱材等)															
3.2.3 冷媒															
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善															